

シチズン・クォーツ太陽電池時計 ST-70-1P

取扱説明書

1) 太陽電池時計の特長

太陽エネルギーを利用した時計ですから電気代は不要です。

太陽光線の当たるところであれば、どんな所でもご使用いただけます。

高精度のクォーツ発振方式ですから正確です。

ニッケルカドミウム蓄電池の使用で雨天や降雪、夜間でも確実に動作します。

外部電源は不要、直流 3.6 V 電源ですから安全。しかも施工が簡単です。

各面ごとの早送り修正及び 0 秒規正ができます。

2) 正しい設置工事の方法

1. 設置場所の選定及び設置工事について

- ・ 太陽電池受光面は必ず真南に向くように磁石などで確認し、太陽電池に直接太陽光が当たる場所をお選びください。(午前 10 時から午後 2 時ごろまでの約 4 時間は必ず太陽光線が当たるようにしてください。)
- ・ 道路交通法や広告物条例に抵触する場合がありますので設置場所には充分注意してください。
- ・ 時計表示部の塗装面に傷をつけないように注意してください。
- ・ 傷がついた場合は早めに補修塗装をしてください。
- ・ 時計制御部を取り付ける場合ぬれた手で触れないでください。雨天の作業では制御部、時計内部をぬらさないように注意してください。
- ・ ニッケルカドミウム蓄電池は絶対にショートさせないでください。また解体もしないでください。

2. ケーブル等の接続について

- ・ 時計部、制御部間の +, - (太陽電池電源) は絶対に誤接続のないよう充分注意してください。まちがえますと機器破損の原因となります。
- ・ 時計信号線の極性をまちがえますと、30 秒間時間がずれますので注意してください。鳥避け棒を太陽電池取付金具にねじ込んで固定します。(鳥避け棒は太陽電池に付属してあります。)

1) スイッチの説明

①電源

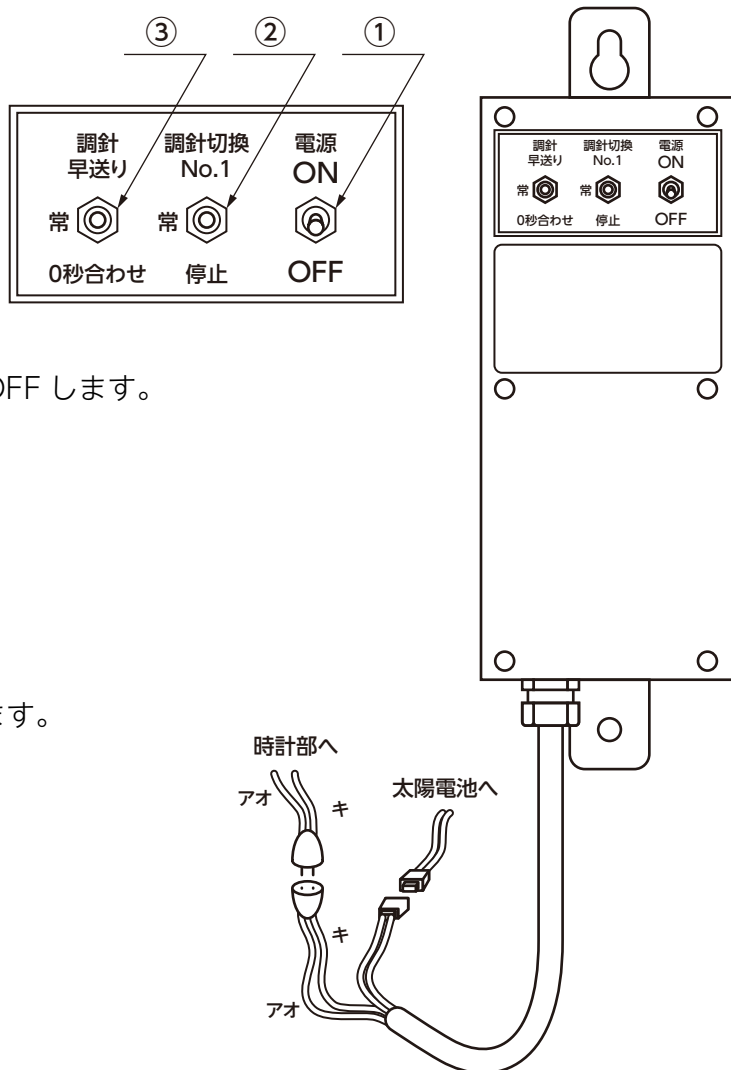
太陽電池及び蓄電池からの入力電源を ON, OFF します。

②調針切換

時分針の調針のとき停止します。

③調針

時分針の調針のとき早送り, 0 秒合わせをします。



2) 時刻の合わせ方

1. ①“電源”スイッチを「ON」にします。

2. 指針が現在時刻より 1 分以上進んでしまいましたら①“電源”を「OFF」にして待ちます。

現在時刻が指針一の 30 秒～1 分前になりましたら①“電源”を「ON」にします。

③“調針”スイッチを「0 秒合わせ」に倒します。現在時刻が指針位置まできたら, 0 秒で手を放しますと「常」に戻ります。時計は正確に動き始めます。

3. 指針が遅れている場合は

③“調針”スイッチを「早送り」に倒します。時計は 30 倍の早さで進みます。

現在時刻より 1 分程度進んだところで③“調針”スイッチを「常」に戻します。

③“調針”スイッチを「0 秒合わせ」に倒します。

現在時刻が指針位置まできましたら, 0 秒で手を放しますと, 「常」に戻ります。

時計は正確に動き始めます。

動作不良のチェックポイントとその処置

万一時計が動作しない場合は次の箇所を点検してください。

チェックポイント	チェック内容	処置
電源スイッチ	「断」になっていませんか。	「接」にする
調針スイッチ	早送りになっていませんか。	「常」にする
調針切換スイッチ	停止になっていませんか。	「常」にする
太陽電池	(1)受光面は正しく南の方角に向いていますか。	(1)磁石で方角を再確認し、違っていたら直す。
	(2)太陽光線が正しく受光面に当たっていますか。	(2)取付場所を日光の当たる場所に変更する。
	(3)太陽電池面がよごれていませんか。	(3)布でふく
コネクタ	(1)制御部からのコネクタは正しく接続されていますか。	(1)逆接続の場合、秒がずれて分針が動作します。正しく接続しなおします。(同色方向)
	(2)太陽電池からのコネクタは完全に接続されていますか。	(2)完全に接続します。
太陽電池	太陽電池を単独(無負荷)にして直射日光で DC4.5~DC5.5V の電圧がありますか	電圧がなければ太陽電池を交換する
ニッカド電池	太陽電池を切り離して、ニッカド蓄電池の電圧が DC3.6V~DC4.2V ありますか	電圧がなければニッカド蓄電池を交換する。

保守について

- ・この時計に使用しているニッケルカドミウム蓄電池は、鉛蓄電池のように補水の必要がありませんので長時間無保守で使用できます。
- ・塵埃や煤煙などで太陽電池の表面が汚れますと出力低下の原因となりますので点検時にはやわらかい布などで汚れを拭き取ってください。特に汚れがひどいときは、水、石けん水、アルコールなどを併用してください。サンドペーパーやヤスリを使用しますと受光面を傷つけますので避けてください。
- ・塗装面のキズを放置しておきますと、サビが生じてきます。キズがついた場合は早めに補修塗装をしてください。